

第4回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

町長行政報告 (要旨)

□平成22年度の農業情勢について

春の雪解けの遅れ、低温などが作物の作付けや生育に悪影響となり、6月に天候は回復したものの、その後異常的猛暑により作物全般に大きな被害が生じました。

主力作物の秋まき小麦は、成長期の異常高温により不稔や未熟粒が多発したため、平年を大きく下回る収量となり、ビートについても、高温多湿の影響で褐斑病の多発と糖分低下(16%程度)から、販売額も大きく減収となりました。

農協の22年度農産物販売計画15億2千万円に対し実績約15%減の12億8千万円程度の見込みですが、小麦、ビートの主力作物については、全量

農業は異常気象にもかかわらず計画販売額を達成!

が共済金の対象となり、平年作からの減少分の9割が補填される見通しです。

畜産関係では、配合飼料や生産資材価格の高止まりに加え本年乳価が値下げとなり、経営は不安定状況にあります。また、口蹄疫の侵入防止の防疫対策など嚴重な対応に追われました。

このような中、生乳生産は、夏場の猛暑にもかかわらず目標4万5500トン(若干下回る4万5100トン)程度と、酪農家の努力により搾乳戸数の減少分をほぼ補える予想で、更に来年度の生産枠確保のため一層の増産に期待するところです。

酪農畜産の販売額は、肉素牛(F・1)の固体販売が順調に推移、計画58億4千万円に対し実績61億2千万円との見込みです。

自給粗飼料のデントコーンは、すず紋病の発生でサイレージ品質や栄養価などへの不安要素もあり、牛の体調管理を含め、生乳生産の動向に

注視が必要です。

農業販売額全体では、73億6千万円に対し実績74億円程度と農作物減少分を畜産販売で補う結果となりました。

□漁業について

外海ホタテ漁は、12月22日までの操業で計画9050トン、キロ単価90円に対して11月末9852トン、キロ単価105円と計画達成の見込み。乾貝柱の製造数量は、歩留まりの低下により当初の計画達成には至らず。

養殖ホタテは、1850トン、キロ単価170円の計画に対し水揚げ2030トン、キロ単価315円と大幅高値となり、養殖ホタテの大型なサイズに需要が集まったと見えております。

養殖力キは例年並。

さけ定置網漁業は、来遊予想に反し1751トン、金額で5億1500万円の漁獲高となり、昨年比179%増と過去最高の水揚げです。

本年の総水揚げ額は計画対比137%増の26億円強が見

込まれています。

□公共事業の執行状況について

地域活性化、きめ細かな臨時交付金事業では一般会計、特別会計合わせて28件、事業費1億1107万円で完了しました。

本年度当初予算での主な工事と委託については、全て発注済で一般、特別会計合わせて52件、事業費5億6690万円です。

工事の進捗状況は、浜佐呂間簡易水道区域拡張工事5件と町道改良舗装工事2件を残すのみとなっております。

道管土地改良事業は、浜幌地区の営農用水事業が3月通水開始を目指し工事が進められ、旧北富地区営農用水事業も改修工事に着手。基幹水利ストックマネジメント事業、草地整備事業サロマ地区についても順調に工事が進められました。

町有林事業は、執行予定分の工事は全て完了しております。